

要求駆動開発 「Requirements Driven Developer」の開発

2006年度下期未踏ソフトウェア創造事業

PM: 黒川 利明

開発者: 毛利真克(株式会社八角研究所)



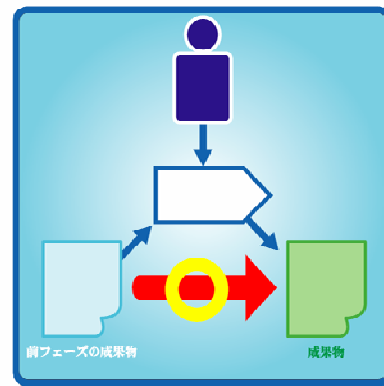
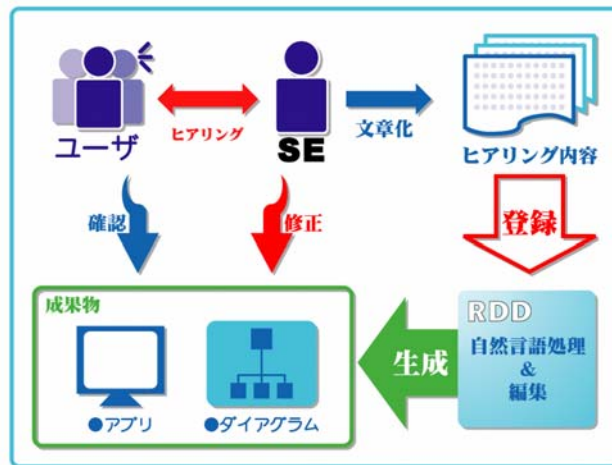
「Requirements Driven Developer」とは

「Requirements Driven Developer」はシステム開発における要求駆動な開発をサポートするツールです。

「Requirements Driven Developer」では自然言語処理を用いることにより顧客とのヒアリング結果を文書化したものから即座にモデル、ソースコードを生成することができます。

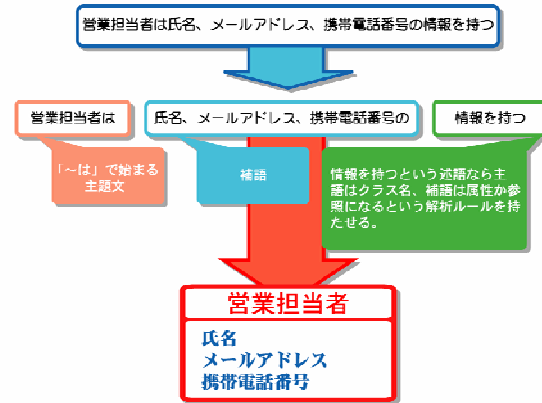
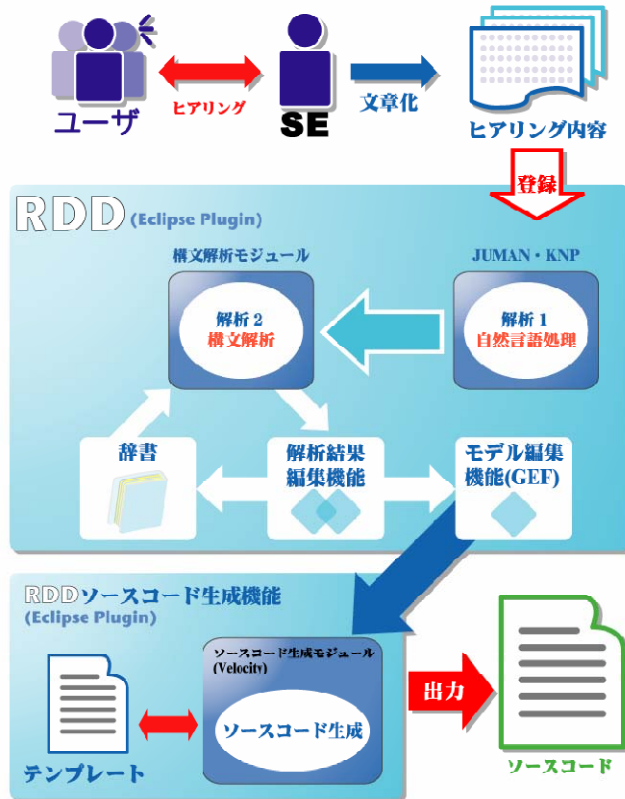
ヒアリング中にダイアグラムや実際に動くアプリケーションを顧客に提示することで要求の精度を飛躍的に高めることができます。

また、要求を最初からモデルとしてツール上で扱えるようにすることで要求分析フェーズの成果物を後フェーズで有効に利用することが可能になります。



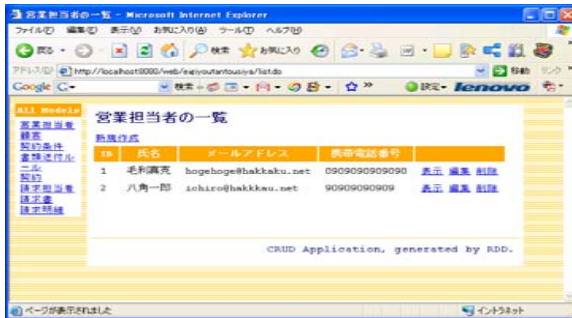
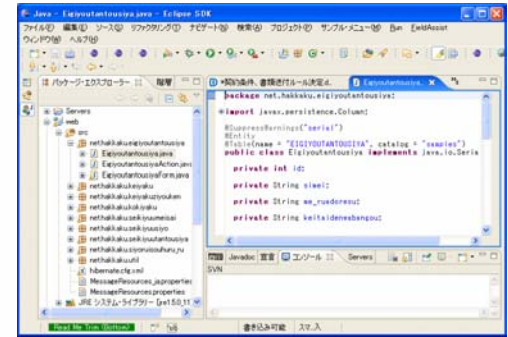
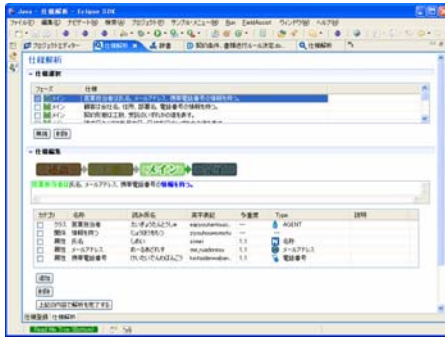
RDD
Requirements Driven Developer

アーキテクチャー



「Requirements Driven Developer」はシステム開発の現場に導入しやすいようにEclipse Pluginとして開発されています。ヒアリング内容を文書化したものを取り込み自然言語処理を用いてモデルに変換します。また、モデルからソースコードを出力することができます。

「Requirements Driven Developer」を利用した開発



Eclipse Pluginとして開発されていることによりソースコード生成機能によって生成されたアプリケーションはWTPを利用して開発を継続することが可能になっています。このことにより要求分析フェーズの成果物を以降のフェーズで最大限に利用することができます。

RDD
Requirements Driven Developer